

百年先へ曳く



生まれ変わった

五ノ神の山車

この春、五ノ神社の山車が新しく生まれ変わった。全体に施された精巧かつ
絢爛豪華な彫り物。闇夜に光り輝くその姿は気高ささえ感じられる。五ノ神の
人々の想いが結集して誕生した新たな山車は百年先まで受け継がれていく。



五ノ神の人々にとって山車だしの

新造は長年の悲願だった。先代の山車は平成19年に福生から古くなった山車を譲り受けたもので、それ以前はトラックに太鼓を載せて町内を回っていた。

山車新造の話が動き始めたのは平成28年7月のことだった。五ノ神会館の土地共同所有者が資金を出し合うことで合意し山車作りがスタート。平成30年3月、およそ1年8か月の歳月をかけ五ノ神社の新しい山車は完成した。

新しい山車で初めて迎えた今年の春季例大祭では、山車の完成を心から喜ぶ五ノ神の人々の姿があった。笑顔が溢れ、そして皆どこか誇らしげであった。今年の春季例大祭は、五ノ神の人々にとって忘れられない日になったことだろう。

山車築造委員会の渡邊時三委員長わたなべときぞうは「素晴らしい職人に恵まれて立派な山車を作ることができた。子や孫たちの代に引き継ぎ、百年先まで大切にしてほしい」と笑顔で語った。